

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】令和 5 年 2 月 3 日(2023.2.3)

【公開番号】特開 2022-191489(P2022-191489A)
【公開日】令和 4 年 12 月 27 日(2022.12.27)
【年通号数】公開公報(特許)2022-239
【出願番号】特願 2022-170865(P2022-170865)
【国際特許分類】

H 0 2 J 50/80(2016.01)

10

H 0 2 J 50/10(2016.01)

H 0 2 J 7/00(2006.01)

【F I】

H 0 2 J 50/80

H 0 2 J 50/10

H 0 2 J 7/00 3 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 1 月 26 日(2023.1.26)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線で電力を送電する送電装置であって、

近距離無線通信(Near Field Communication)を行うタグの
検出を行う検出手段と、

前記タグの検出が実行されたかを示す情報と、前記タグの検出の結果を示す情報と含む
信号を送信する送信手段と、を有することを特徴とする送電装置。

30

【請求項 2】

前記信号は、無線電力伝送に関する交渉を行う交渉フェーズにおいて、送信されること
を特徴とする請求項 1 に記載の送電装置。

【請求項 3】

前記信号は、受電装置から、前記送電装置の能力情報の問い合わせに応じて送信される
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の送電装置。

【請求項 4】

無線で電力を送電する送電装置が行う通信方法であって、

近距離無線通信(Near Field Communication)を行うタグの
検出を行い、

前記タグの検出が実行されたかを示す情報と、前記タグの検出の結果を示す情報と含む
信号を送信することを特徴とする通信方法。

40

【請求項 5】

前記信号は、無線電力伝送に関する交渉を行う交渉フェーズにおいて、送信されること
を特徴とする請求項 4 に記載の通信方法。

【請求項 6】

前記信号は、受電装置から、前記送電装置の能力情報の問い合わせに応じて送信される
ことを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の通信方法。

【請求項 7】

50

コンピュータに、請求項 4 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の通信方法を実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本開示の一態様による送電装置は、以下の構成を有する。すなわち、
無線で電力を送電する送電装置であって、
近距離無線通信 (Near Field Communication) を行うタグの
検出を行う検出手段と、

前記タグの検出が実行されたかを示す情報と、前記タグの検出の結果を示す情報と含む
信号を送信する送信手段と、を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

NFC 関連情報の問い合わせを受けた送電装置 100 の第三制御部 301 は、第四制御
部 309 に NFC タグ検出を行ったかどうかとその検出の結果を問い合わせることにより
状態確認を行う (S503、S504)。第三制御部 301 は、図 4 で説明した検出状態
を示す情報を、第四制御部 309 から受け取り、この情報を含むパケットを NFC 関連情
報の問い合わせに対する応答として、第三通信部 304 を用いて受電装置 102 に送信す
る (S505)。

10

20

30

40

50